(ID　0　) ☆7

治療計画書

療法名　パクリタキセル+アバスチン　療法　1サイクル 4 週

疾患名　手術不能または再発乳がん

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
注射	1	生理食塩液	20 ml	CVCポート	ルートキープ	●							●							●													
注射	2	ファモチジン	20 mg	点滴	30分	●							●							●													
		デキサート	9.9 mg																														
		生理食塩液	50 ml																														
注射	3	パクリタキセル	90 mg/㎡	点滴	1時間	●							●							●													
		生理食塩液	250 ml																														
注射	4	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●							●							●													
注射	5	アバスチン	10 mg/kg	点滴	※初回90分	●														●													
		生理食塩液	100 ml		2回目60分可																												
					3回目以降																												
					30分可																												
注射	6	生理食塩液	50 ml	点滴	15分	●														●													
注射	7	ヘパリンNaロックシリンジ	100 IU	CVCポート		●							●							●													
注射	8																																
注射	9																																
注射	10																																
内服	1	レスタミン	50 mg	パクリタキセルの30分前まで		●							●							●													
内服	2	デカドロン	8 mg	1日1(-2)回朝(昼)食後			●	●						●	●						●	●											
内服	3																																
内服	4																																
内服	5																																
内服	6																																
内服	7																																
内服	8																																
内服	9																																
内服	10																																
放射線			Gy																														

特記事項

※アバスチンは、初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。
パクリタキセル中止後は、病勢の増悪又は忍容できない毒性が発現するまでアバスチンの単独継続投与が可能。

減量規定

薬品名	パクリタキセル	アバスチン			
標準投与量	90 mg/㎡	10 mg/kg			
1段階減量	65 mg/㎡	休薬			
2段階減量	中止	休薬			
3段階減量					